

令和5年3月31日

令和4年度総合診療専門医育成ネットワーク事業完了報告書

1. 各医療機関間のネットワークづくり

(1) 総合診療専門医育成ネットワーク世話人会及び意見交換会等の開催

- ・世話人会議 令和4年8月7日(日)
- ・世話人会議(メール会議)10回
  - 7月 松江赤十字病院、益田赤十字病院の新規参加について
  - 8月～12月 総合診療専門医プログラム広報のあり方について
  - 1月～3月 次年度の取り組みについて

2. 総合診療医育成のためのプログラム作成・指導體制の整備支援

(1) 総合診療専門医育成プログラムの整備状況

令和4年度時点で下記の育成プログラムが整備され、28名の専攻医が研修中である。

a. 家庭医療専門医プログラム(Ver2.0)・・・10プログラム

- ・島根大学病院総合医・家庭医養成プログラム(ver.2.0)
- ・島根県立中央病院地域医療・家庭医療プログラム(ver.2.0)
- ・出雲市民病院・出雲家庭医療学センター後期研修プログラム(ver.2.0)
- ・雲南市立病院総合医・家庭医教育プログラム(ver.2.0)
- ・大田市立病院総合診療医・家庭医育成プログラム(ver.2.0)
- ・家庭医療・地域包括ケア 仁寿・川本あいあいプログラム(ver.2.0)
- ・浜田市地域包括ケア家庭医療専門医コース(ver.2.0)
- ・津和野共存病院総合診療医・家庭医育成プログラム(ver.2.0)
- ・県境を含む中山間地域で育む総合医研修プログラム(ver.2.0)
- ・島根県済生会江津総合病院総合診療専門プログラム(ver.2.0)

b. 総合診療専門研修プログラム・・・12プログラム

- ・松江生協病院総合診療専門医研修プログラム
- ・島根大学病院総合診療専門医コース研修プログラム
- ・島根県立中央病院総合診療専門研修プログラム
- ・出雲市民病院・出雲家庭医療学センター総合診療専門研修プログラム
- ・雲南市立病院総合診療専門研修プログラム
- ・総合診療専門研修 仁寿・川本あいあいプログラム
- ・島根県済生会江津総合病院総合診療専門プログラム
- ・浜田市地域包括ケア総合診療専門医コース
- ・津和野共存病院総合診療専門研修プログラム
- ・出雲徳洲会病院総診プログラム
- ・松江赤十字病院 総合診療専門研修プログラム
- ・益田赤十字病院 総合診療専門研修プログラム

(2) 総合診療医ブラッシュアップセミナーの実施

(第2回しまね総合診療の集い(Web開催)として実施)

【日時】 令和4年8月7日(日) 10:00～12:10

【参加者】 111名

【講師】

第1部: 大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学 教授 忽那 賢志 先生

第2部: 島根大学医学部附属病院 感染制御部副部長 ICTリーダー 准教授 羽田野 義郎 先生

第1部は、大阪大学感染制御学の忽那賢志先生に「COVID-19 アップデート」のテーマで、COVID-19の基本的な情報、現在主流となっているBA.5の状況、ワクチンおよび治療薬の有効性について、国内・海外の文献やデータをもとにお話し頂いた。COVID-19の収束が不透明な中で、先進的な知見を持たれる先生の講義内容には、講演終了後にも多くの質問が寄せられ、活発な議論が交わされた。

第2部では、「抗菌薬適正使用とその周辺」のテーマで、今年当大学の感染制御部に着任された羽田野義郎先生に、薬剤耐性、抗菌薬適正使用を判断するためのAWaRe分類、感染症治療期間等についてお話し頂いた。全国的に感染症専門医が不足している中で、島根県においては、解決策の一つとして、総合診療専門医が感染症の領域を担ってほしいと話され、貴重な示唆を頂いた。

### (3) 「総合診療専門医プログラム説明会」の実施

(第3回しまね総合診療の集いとして実施)

【日時】令和4年9月3日(土) 13:30~17:15

【場所】パルメイト出雲

【参加者】51名

【講師】第1部 飯南病院総合診療科 馬淵 寛也 先生  
隠岐病院総合診療科 森江 祥平 先生

第2部 島根県立中央病院総合診療科 文田 昌平 先生  
飯南病院総合診療科 馬淵 沙弥佳 先生  
奥出雲病院総合診療科 重栖 慎典 先生

#### 【概要】

趣向を凝らし医学生のピアノ演奏から始まった。開催形式も2部構成で内容を刷新し、過去最多の参加者となった。

第1部は8病院のプログラムを紹介する動画を流した後に、専攻医の馬淵先生・森江先生に「総合診療医って実際どうなの?—専攻医のリアルな毎日—」をテーマにお話し頂いた。診療と普段の生活の様子を交えたお話しには、初期研修医や医学生も総合診療専門医のイメージを掴めたのではないかと感じた。

第2部は3病院のプログラムを紹介し、「総合診療と内科医迷います・・・私たちがそうでした」というテーマで、文田先生・馬淵先生・重栖先生に其々のご経験からお話し頂いた。その後ファシリテーターを中心として有意義なグループディスカッションが行われ、初期研修医や医学生が普段感じていた疑問も解決したのではないかと考える。

## 3. 総合診療専門医等の研修と養成

### (1) しまね総合診療の集い

#### a. 第1回

【テーマ】島根県総合診療専攻医合同オリエンテーション

【日時】令和4年4月16日(土) 13:20~18:30

【場所】パルメイト出雲4階 パルメイトホール (Zoomと併用のHybrid)

【参加者】58名(対面31名 Web 27名)

【講師】しまね総合診療センター センター長 白石 吉彦 先生

出雲市民病院 副院長 高橋 賢史 先生、内科部長 上村 祐介 先生

#### 【概要】

記念講演として、白石吉彦先生に「これから総合診療を始める君たちへ」と題してお話し頂いた。学生時代、海外留学、隠岐島前病院での医療について紹介され、たくさんのメッセージが新専攻医に伝えられた。続いて、高橋賢史先生、上村祐介先生より「専攻医直伝・研修サバイバル術」のレクチャーが行われ、ポートフォリオ発表とクリニカルジャズ

の実践をグループに分かれて行った。新専攻医はもちろん、初期研修医や医学生にも総合診療の面白さを感じてもらえる内容であった。

閉会式では、しまね総合診療センターのチーフレジデント5名が選出され、白石吉彦先生より任命状とネームプレートが手渡された。島根の総合診療医育成に対する先進的な取り組みは、熱意にあふれている。新専攻医の先生方が、本会をきっかけとして大きく飛躍されることを期待する。

b. 第2回

「総合診療医ブラッシュアップセミナー（Web開催）」を実施した。

c. 第3回

「総合診療専門医プログラム説明会」を実施した。

d. 第4回

【テーマ】「君たちの5年後を考える・専攻医の“その次”は、家庭医！？病院総合医！？それとも！？」

【日時】令和4年12月3日（土）12：30～17：00

【場所】ツインリーブスホテル出雲 2階ファンクショナルルーム

【参加者】対面37名 Web11名 計48名

【講師】島根県立中央病院 地域総合委育成科部長 小田川 誠治先生  
総合診療部長 増野 純二 先生  
総合診療科部長 今田 敏弘 先生

【概要】

オープニング講演では、島根県立中央病院の小田川先生が「専門医制度」についてお話しされ、初期研修医や医学生は制度のイメージを掴むことができたのではないかと考える。

第1部は医学生3名が、島根県内の実習で感じたことや経験した症例を通じて、学生の視点から総合診療の必要性についてプレゼンテーションを行った。

第2部は専攻医教育企画で、2つの症例についてグループワークが行われた。最初に関節リウマチと肺がん患者の症例が提示され、関節リウマチの問診・診察・診断の方法や、肺がん患者の呼吸 困難緩和方法、在宅でのPCAポンプの必要性についてディスカッションが行われた。その後、島根県立中央病院の増野先生と今田先生から、症候学や詳細な治療方法、出雲PCAシステムの実績について講義頂き、初期研修医や医学生も実践的な学びに満足な様子が窺えた。

e. 第5回

【場所】パレットごうつ 大ホール

【参加者】対面46名 Web15名 計61名

【講師】第1部 あさひ診療所 所長 上野伸行 先生  
益田赤十字病院 総合診療科部長 岡本栄祐 先生  
第2部 島根県立中央病院 総合診療科 吉村菜実 先生  
益田赤十字病院 総合診療科 青木 光 先生  
益田赤十字病院 総合診療科 波多野拓也 先生  
津和野共存病院 内科 木田川幸紀 先生

第1部は、上野先生が「ACPと意思決定支援について」というテーマで、先生自身が経験された症例をもとにお話しされた。その中で「患者本人の価値観・人生観を共有することが重要である」と強調された。続いて、岡本先生が「医者何十年目、総合診療医が自宅で看取りをしてみました」をテーマに、様々な事に葛藤しながら家族を看取られたお話をされ、

参加者も真剣な眼差しで聴講した。

第2部は「感じてみよう、総合診療医の日常」というテーマで、吉村先生、青木先生、波多野先生、木田川先生に、自身の自己紹介や、総合医の日常、経験した症例等をお話しいただいた。グループディスカッションも行われ、活発な意見交換が行われた。また、休憩時間中には、この春島根大学医学部に入学する高校生の自己紹介および、島根県内11病院のプログラム紹介ビデオが上映された。

(2) 全国セミナーへの参加（学生への学会等参加支援）

【日時】 令和4年6月11日(土)～令和4年6月12日(日)

【場所】 パシフィコ横浜

【件名】 第13回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

【参加者】 医学生3名（6年1名、3年2名）

【内容】 「検査・診断」および「悪性腫瘍」についての演習、シンポジウム参加・ポスター見学

(3) アメリカ心臓協会 BLS コース（HeartCode®BLS）開催

【日時】 令和4年4月26日(火) 13:00～16:00

【場所】 みらい棟2階 共通カンファレンス室I

【参加者】 2名

【講師】 日本 ACLS 協会 島根 ECC トレーニングサイト インストラクター

アメリカ心臓協会 HeartCode®BLS は、オンライン学習パートを修了後、会場での短時間スキルパートを受講することで、プロバイダーカードの取得ができるコロナ禍における新しい生活様式に沿った次世代型の BLS コースである。

今回は、当講座の教員2名を対象として開催した。受講生はインストラクターの指導の下、DVD を見ながら成人・小児・乳児の心肺蘇生法並びに AED の使用方法や、ポケットマスク・バックバルブマスク等の手技を学習実践した。

4. 医療機関・医師会・行政等と連携した総合診療医についての普及啓発

(1) 総合診療専門医育成プログラムについてのパンフレット改訂（第8版）

【実施時期】 令和4年8月

【印刷部数】 300部

【配布先】 県内病院等39ヶ所

(2) しまね地域医療センターとの連携

・第1回しまね専門研修プログラムWeb説明会 令和4年7月19日(火)

・第2回しまね専門研修プログラムWeb説明会 令和4年10月24日(月)から28日(金)

(3) 大学との連携

a. 大学院コース等の支援

博士課程：地域医療・地域包括ケア指導者育成コース

修士課程：地域包括ケア人材養成コース（医療経営重点）

その他：①島根大学病院総合診療専門医コース

②地域包括ケア人材育成コース（インテンシブ）

b. 卒後臨床研修センター主催 早朝セミナー（毎週水曜日 7:30-8:15）

(4) 医療機関との連携

総合診療科の活動について11件の論文投稿を行った。

以上